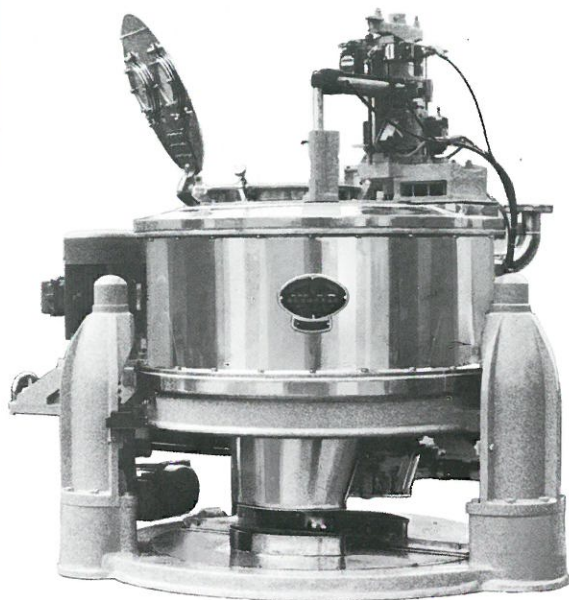
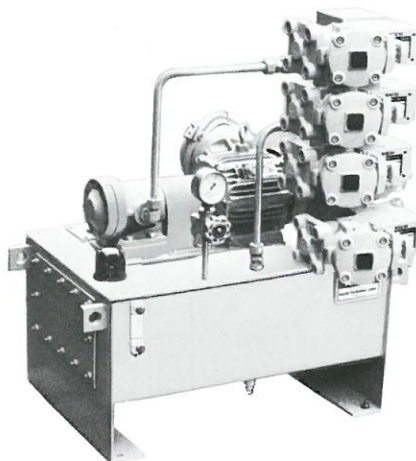


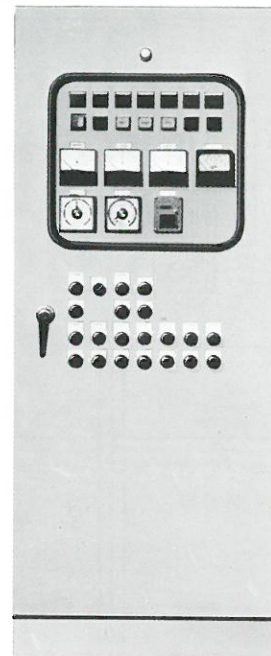
TO 全自動 回分式 遠心分離機



TO-42号



油圧ユニット



制御盤

本機の特長

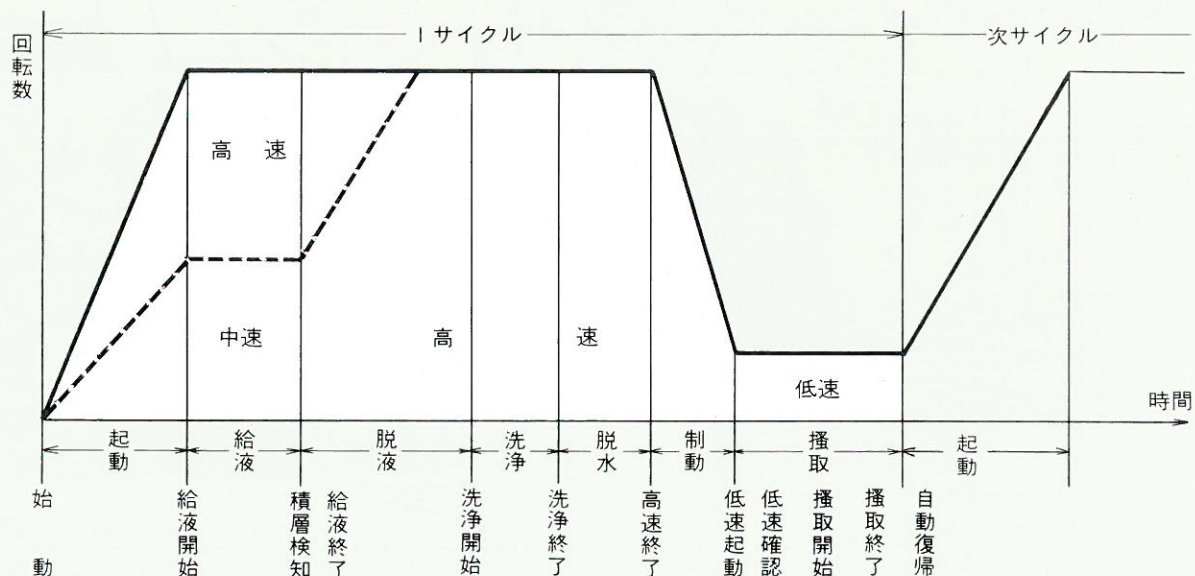
- 1 無人運転が出来ます。
- 2 遠隔操作により作業者の労力軽減と安全衛生が確保されます。
- 3 工程サイクルが設定されますとボタン一つで運転が出来ます。工程・サイクル変更の調整も容易に出来ます。(シーケンサー仕様)
- 4 本機はコンパクトですから設置面積を最小に出来ます。
- 5 保守点検が容易に行なえるように設計されています。また消耗部品が少なく耐久性にすぐれています。

TO型 遠心分離機は揺動懸垂式で分離固形物(ケーキ)を底部に排出する底部排出型です。

TO型 遠心分離機は3つの構成からなっています。

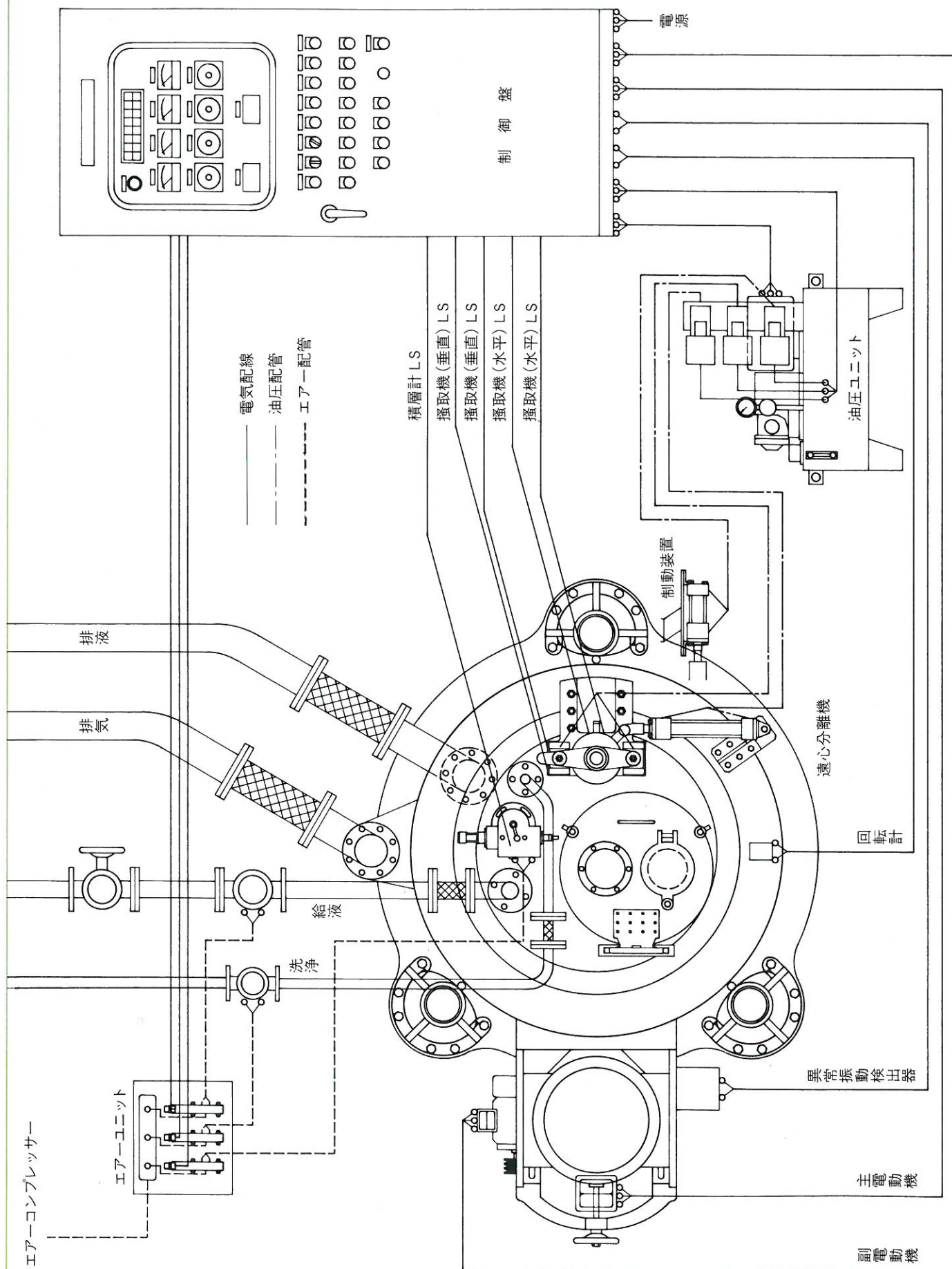
- | | |
|----------------|---|
| (1) 遠心分離機本体 | 本体と本体に附設されている減速搔取装置、自動制動装置、各種安全装置等の自動機器で構成されています。 |
| (2) 油圧・エアーユニット | 遠心分離機本体に附設されている自動機器の作動源となります。 |
| (3) 自動制御盤 | 工程・サイクルを制御します。 |

標準工程サイクル



標準工程サイクル以外に、それぞれの処理物に最も適し、目的にかなった設計をいたします。

標準配置系統図



附設装置

自動掻取装置



バスケット内の汚過されたケーキを、掻取カッターの水平・垂直作動により、下部に排出する装置です。シリンダー作動源には油圧・エアの2種類があります。

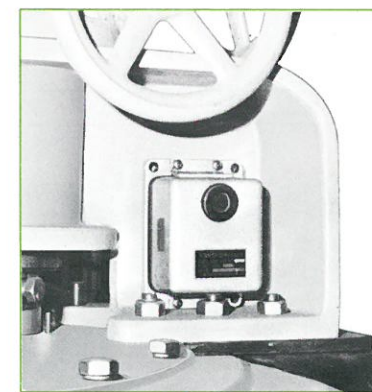
オイルクラッチ



従来、クラッチは消耗品とされてきました。このオイルクラッチは半永久的でメンテナンスの点でも1～2年に1度のオイル交換ですみ、従来型のライニング張替、交換における作業ロスがなくなりました。またアスベストの粉塵がありませんので衛生的です。

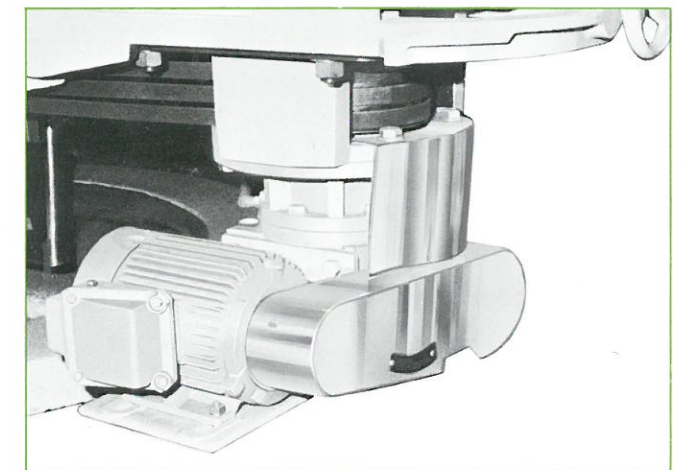
安全装置

異常振動検出器



本体に異常振動が発生した場合に、これを検出して全操作を停止させ、回転しているバスケットに制動をかける様に指示を出す装置です。

減速機



掻取装置でケーキを掻取る際は低速回転で行ないます。低速回転時は副電動機により特殊ウォーム減速機を経由してVベルト伝導します。

機械式自動制動装置



油圧又はエアシリンダーによる両締めバンドブレーキ方式を採用しています。ライニングはアスベストに真ちゅうワイヤーを織込んだものを使用しています。防爆構造にする場合は防爆用バンドブレーキ又はディスクブレーキをお勧めします。アスベストの粉塵による不衛生、防爆対策には、トランジスタ・インバータ仕様、又は油圧駆動をお勧めします。

自動積層計



積層計は給液満杯時を検出してオーバーチャージを防止する装置です。検出後はフィラーが層に接触しないように逃がす安全設計になっています。

パルス式回転計

バスケットの回転を検知し、低速掻取時の安全確認及び給液時の回転制御を行ないます。

● 型 式 ・ 仕 様

遠心分離機本体

型 式	揺動懸垂式 底部排出型 全自動 TO-□□号 遠心分離機
支持方式	☐ ハンガーボルト・スプリング方式 ☐ エアライド式
主要材料	☐ SUS304 ☐ SUS316 ☐ チタン ☐ アフロン ☐ SUS316L ☐ ハードラバーライニング ☐ その他
バスケット形状	☐ 全面有孔壁 ☐ 上部有孔壁 ☐ 無孔壁
バスケット構造	☐ リベッティング構造(標準) ☐ 全溶接構造
駆動方式	☐ オイルクラッチ ☐ インバータ ☐ 電源回生機能内蔵インバータ
制動装置	☐ バンドブレーキ ☐ ディスクブレーキ ☐ 制動抵抗器ユニット ☐ 回生コンバータ ☐ 電源回生機能内蔵インバータ
電 動 機	☐ 全閉外扇型 ☐ 安全増防爆型 ☐ 耐圧防爆型 ☐ 200 V ☐ 400 V ☐ 50Hz ☐ 60Hz
掻取駆動源	☐ 油圧 ☐ エア圧力 ☐ 空油変換器 ☐ ハイドロチェッカー式

自動計装制御盤

型 式	自立据置型 防塵構造 換気扇付 ☐ 屋内 ☐ 屋外
制御電源	☐ DC24 V ☐ AC100 V ☐ AC200 V ☐ 非防爆 ☐ 安全増防爆 ☐ 耐圧防爆 ☐ 本質安全防爆
シーケンサ	☐ 三菱製 ☐ 富士電機製 ☐ オムロン製 ☐ 安川製

現場操作盤

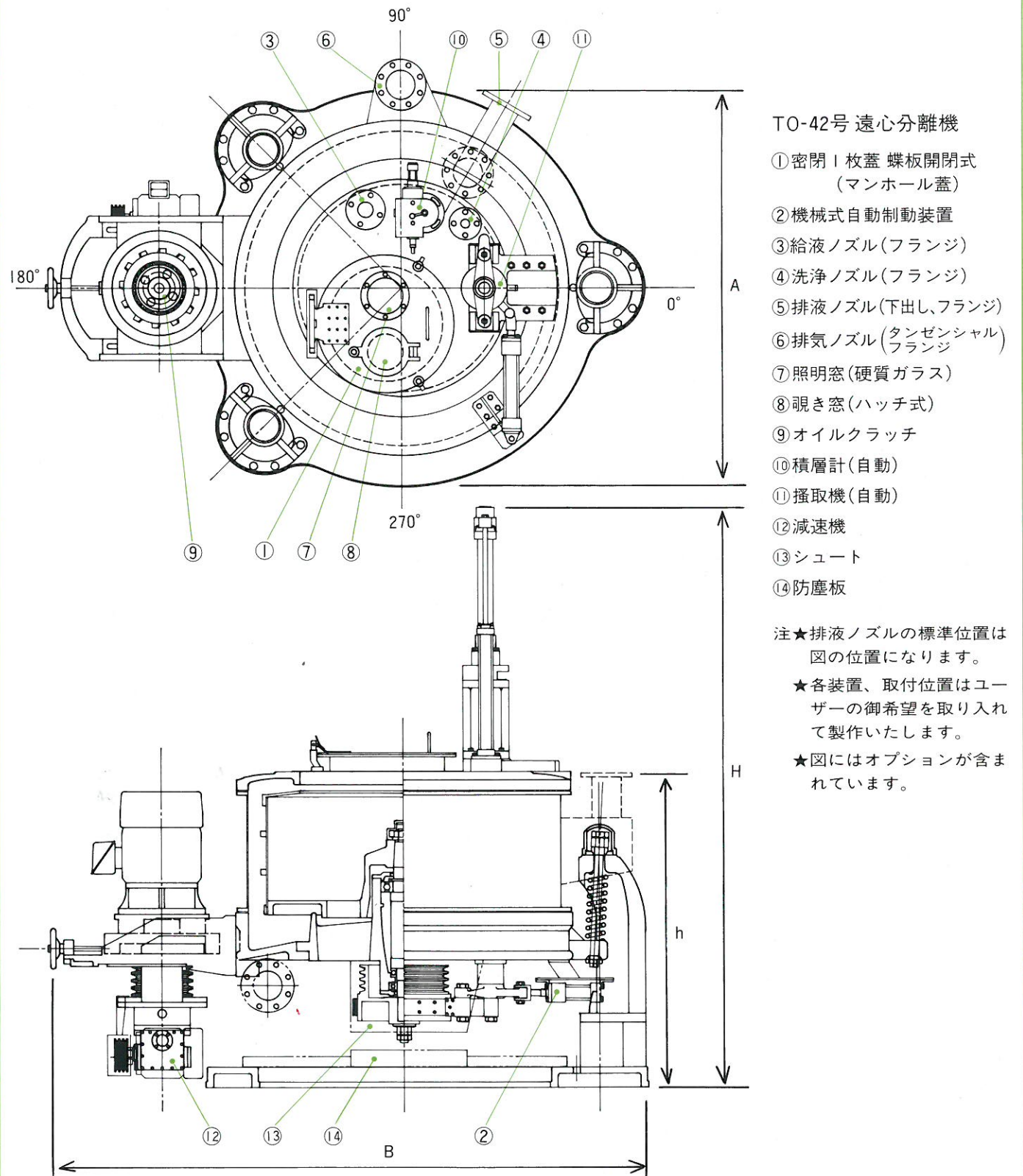
型 式	屋内壁掛け型
防爆構造	☐ 非防爆 ☐ 安全増防爆 ☐ 耐圧防爆 ☐ 本質安全防爆

自動機器作動源

油圧ユニット	☐ 自動掻取機の油圧シリンダー作動源
エアユニット	☐ ステンレス製ボックス(防塵・水切構造)にソレノイドバルブを内蔵

エア—機器

☐ ボールバルブ	☐ 三方バルブ	☐ バタフライバルブ
☐ シャッターバルブ	☐ 自動受皿装置	☐ ゲートバルブ



TO-42号 遠心分離機

- ① 密閉1枚蓋 蝶板開閉式 (マンホール蓋)
- ② 機械式自動制動装置
- ③ 給液ノズル(フランジ)
- ④ 洗浄ノズル(フランジ)
- ⑤ 排液ノズル(下出し、フランジ)
- ⑥ 排気ノズル(タンゼンシャルフランジ)
- ⑦ 照明窓(硬質ガラス)
- ⑧ 視き窓(ハッチ式)
- ⑨ オイルクラッチ
- ⑩ 積層計(自動)
- ⑪ 掻取機(自動)
- ⑫ 減速機
- ⑬ シュート
- ⑭ 防塵板

注★排液ノズルの標準位置は図の位置になります。

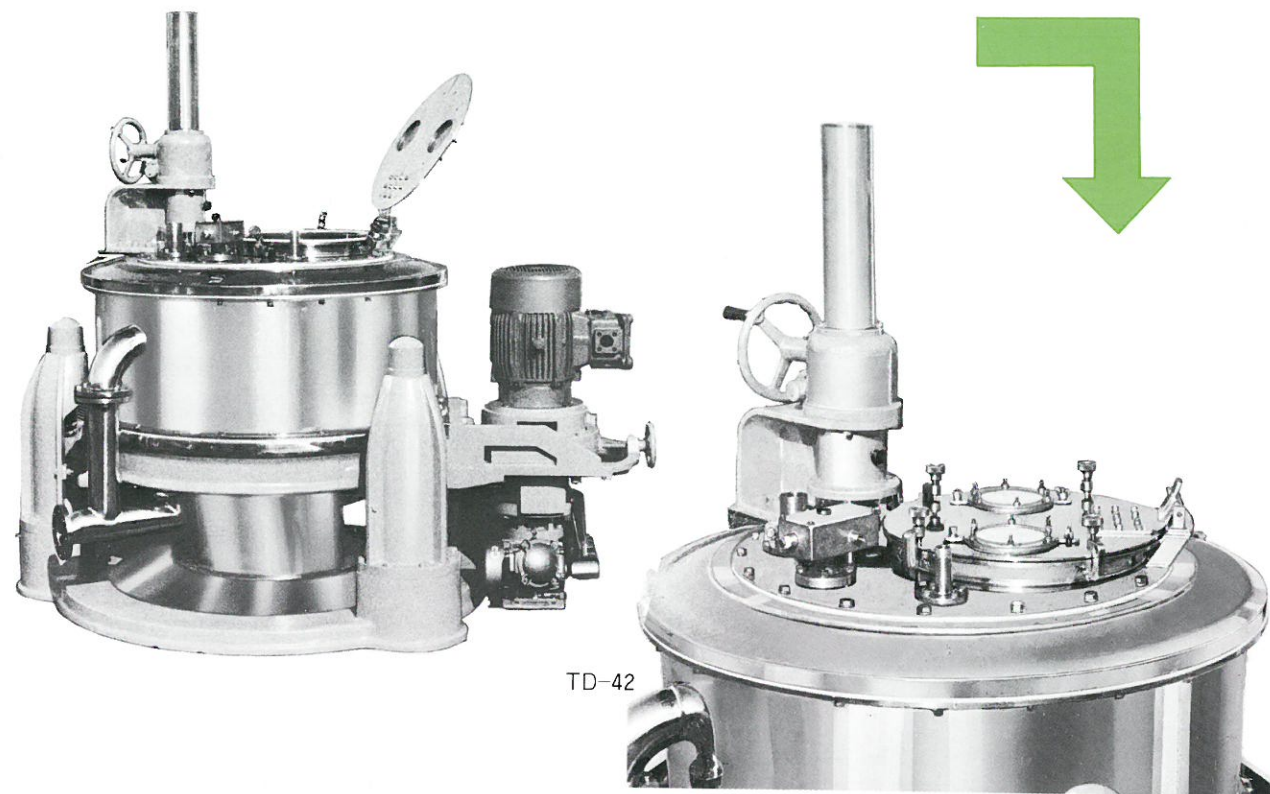
★各装置、取付位置はユーザーの御希望を取り入れて製作いたします。

★図にはオプションが含まれています。

型式	バスケット寸法 直径×深さ(mm)	容量 (ℓ)	回転数 (r.p.m.)	遠心効果 (G)	モーター(KW)		機械重量 (kg)	主 要 寸 法 (mm)			
					(主)	(副)		A	B	h	H
TO-24	φ 610×270	30	1500	770	2.2~3.7	0.4	950	1100	1530	1050	1850
TO-30	φ 762×343	64	1200	615	3.7~5.5	0.75	1500	1310	1730	1080	2050
TO-36	φ 915×343	90	1100	620	5.5~7.5	1.5	2200	1350	2140	1170	2140
※ TO-42	φ 1067×406	152	1000	600	7.5~11	1.5	3000	1560	2340	1240	2270
① TO-48	φ 1220×406	208	900	555	11~22	1.5	4200	1700	2580	1330	2440
※ TO-48	φ 1220×456	234	900	555	11~22	1.5	4300	1700	2580	1380	2490
TO-55	φ 1400×500	400	800	500	15~22	2.2	6200	1930	3040	1500	2650
TO-60	φ 1520×600	550	770	500	18.5~22	2.2	7000	2140	3410	1700	2850

※印には標準型バスケットの他に深型バスケットもあります。
上記回転数は標準型の場合で、それぞれの処理物に最も適した回転数に設計いたします。

TD 底部排出型遠心分離機 減速撈取装置付



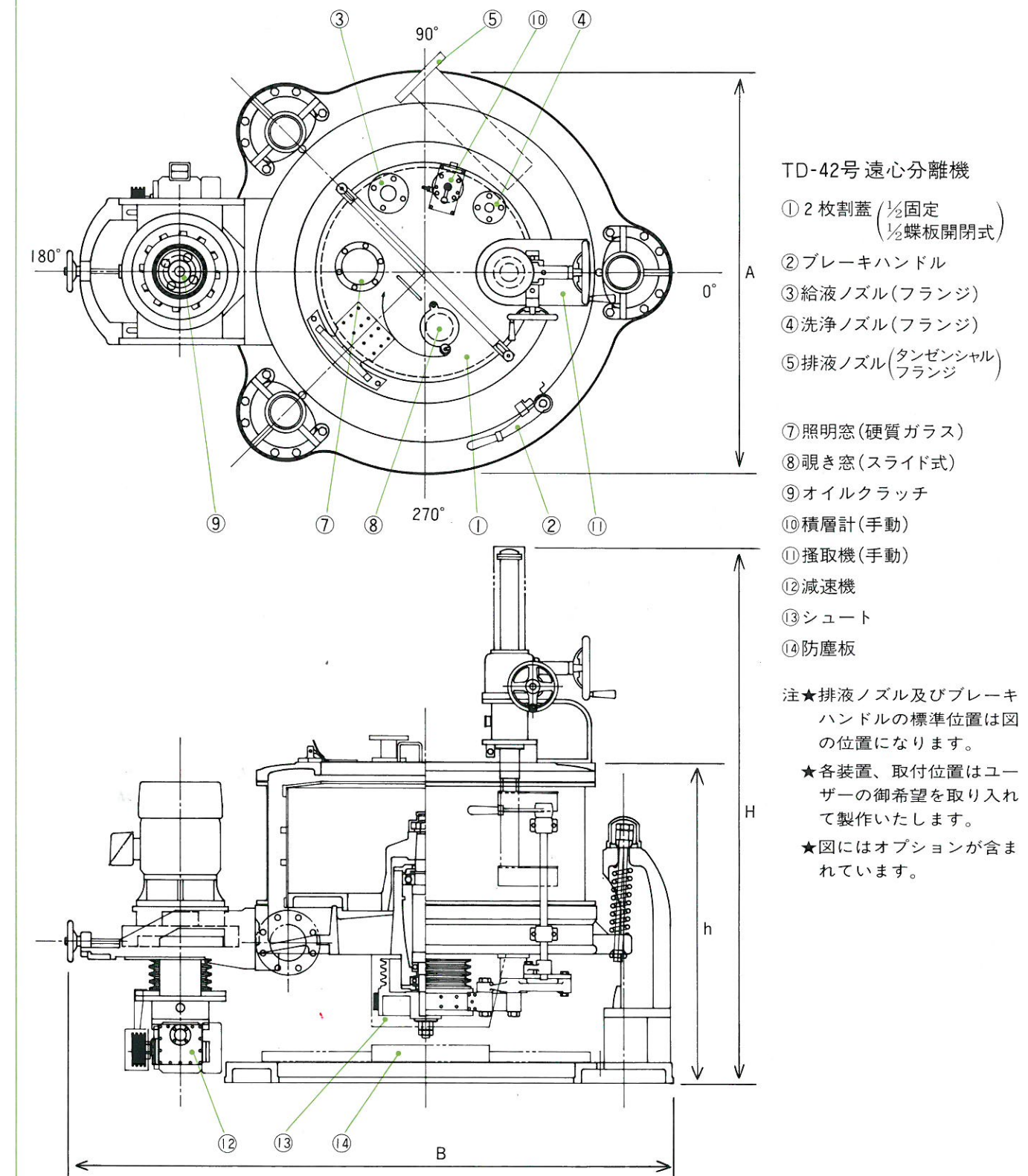
TD-42

密閉1枚蓋 蝶板開閉式
(マンホール蓋)



TD-42 バスケット

本機は、化学・薬品工業等の大量生産に最も適した遠心分離機です。
低速回転時に撈取装置を作動させ、撈取られたケーキはバスケットの下部より落下排出されます。
これにより作業能率が良くなるだけでなく、連携工程が容易に組込めケーキの搬送や集積等にも省力化ができます。
尚、バスケット駆動方式はT O 型と同様です。



TD-42号 遠心分離機

① 2枚割蓋 (1/2固定
1/2蝶板開閉式)

② ブレーキハンドル

③ 給液ノズル(フランジ)

④ 洗浄ノズル(フランジ)

⑤ 排液ノズル(タンゼンシャル
フランジ)

⑦ 照明窓(硬質ガラス)

⑧ 視き窓(スライド式)

⑨ オイルクラッチ

⑩ 積層計(手動)

⑪ 撈取機(手動)

⑫ 減速機

⑬ シュート

⑭ 防塵板

注★排液ノズル及びブレーキ
ハンドルの標準位置は図
の位置になります。

★各装置、取付位置はユー
ザーの御希望を取り入れ
て製作いたします。

★図にはオプションが含ま
れています。

型 式	バスケット寸法	容量 (ℓ)	回 転 数 (r.p.m.)	遠心効果 (G)	モーター(KW)		機械重量 (kg)	主 要 寸 法 (mm)			
	直 径×深サ(mm)				(主)	(副)		A	B	h	H
TD-24	φ 610×270	30	1500	770	2.2~3.7	0.4	950	1100	1530	1050	1700
TD-30	φ 762×343	64	1200	615	3.7~5.5	0.75	1500	1310	1730	1080	1760
TD-36	φ 915×343	90	1100	620	5.5~7.5	1.5	2200	1350	2140	1170	1930
※ TD-42	φ 1067×406	152	1000	600	7.5~11	1.5	3000	1560	2340	1240	2080
① TD-48	φ 1220×406	208	900	555	11~22	1.5	4200	1700	2580	1330	2430
※ TD-48	φ 1220×456	234	900	555	11~22	1.5	4300	1700	2580	1380	2480
TD-55	φ 1400×500	400	800	500	15~22	1.5~2.2	6200	1930	3040	1500	2620
TD-60	φ 1520×600	550	770	500	18.5~22	2.2	7000	2140	3410	1700	2820

※印には標準型バスケットの他に深型バスケットもあります。
上記回転数は標準型の場合で、それぞれの処理物に最も適した回転数に設計いたします。

TU 上部排出型 遠心分離機 オプション 減速掻取装置



TU-42



TU-42 アップ式減速掻取装置付

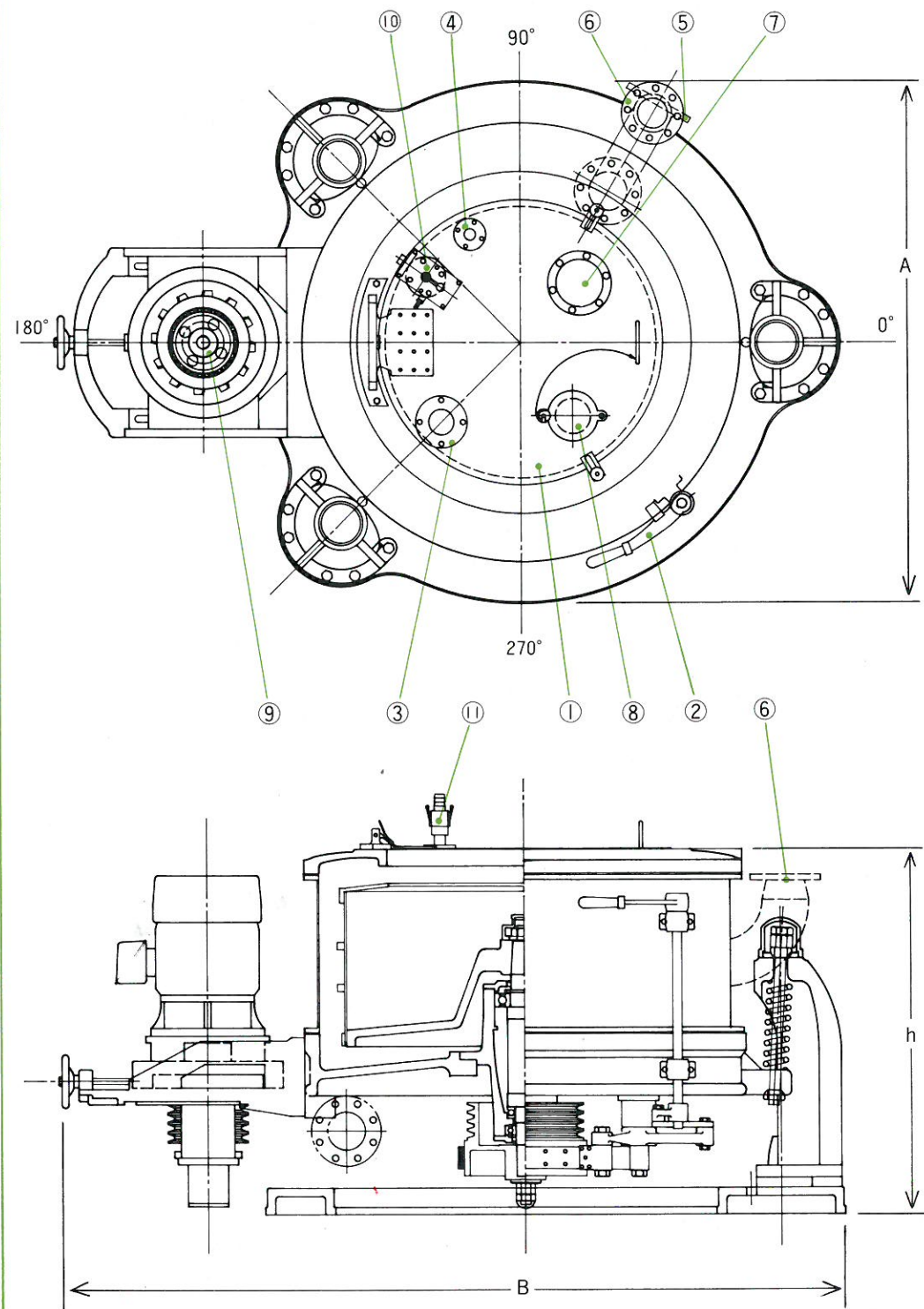
上部排出型 遠心分離機

上部排出型 遠心分離機は各種ある遠心分離機の中で最も用途の広い機種です。
本機は機械的構造が最も簡単ですので機械の性能が高く保て、耐久性・安全性にすぐれています。
本機は化学工業を始めとして、薬品工業・食品工業・鉱工業等、広範囲にわたり使用されています。

上部排出型（減速掻取装置付）遠心分離機

本機は滲過脱水後のケーキを上部より取り出しますが、分離物の性質により滲過後のケーキがバスケット内に堅くかたまったり、大型機の場合にはケーキが多量の為に、排出作業に手間がかかります。
このような場合に低速回転時にケーキを削り落すことが出来る減速掻取装置をオプションで設定しています。
減速掻取装置は従来のどの機種にも取り付けられます。
また排出作業・滲布の装着を容易にするために、掻取機のカッターはケーシングの上部まで上がるように設計されています。

尚バスケット駆動方式は電動機駆動・トランジスタインバータ駆動になります。



TU-42号 遠心分離機

- ① 1枚蓋 蝶板開閉式
- ② ブレーキハンドル
- ③ 給液ノズル(PTネジ)
- ④ 洗浄ノズル(PTネジ)
- ⑤ 排液ノズル(下出し、フランジ)
- ⑥ 排気ノズル(エルボ、フランジ)
- ⑦ 照明窓(硬質ガラス)
- ⑧ 覗き窓(スライド式)
- ⑨ オイルクラッチ
- ⑩ 積層計(手動)
- ⑪ 給液・洗浄用カップリング

注
★排気ノズル及びブレーキハンドルの標準位置は図の位置になります。
★各装置、取付位置はユーザーの御希望を取り入れて製作いたします。
★図にはオプションが含まれています。

型 式	バスケット寸法 直径×深サ(mm)	容量 (ℓ)	回転数 (r.p.m.)	遠心効果 (G)	モーター (kW)	機械重量 (kg)	主 要 寸 法 (mm)		
							A	B	h
TU-12	φ 305×146	3.6	2500	985	0.75	150	580	980	510
TU-15	φ 381×172	6.5	2000	850	0.75	220	690	1140	530
TU-18	φ 457×229	15	1600	660	0.75~1.5	410	870	1235	570
TU-24	φ 610×270	30	1500	770	1.5~2.2	640	1100	1530	680
TU-30	φ 762×343	64	1200	615	3.7~5.5	900	1310	1730	860
TU-36	φ 915×343	90	1100	620	5.5~7.5	1500	1350	2140	980
※ TU-42	φ1067×406	152	1000	600	7.5~11	2100	1560	2340	1090
①TU-48	φ1220×406	208	900	555	11~22	2500	1700	2580	1215
※②TU-48	φ1220×456	234	900	555	11~22	2550	1700	2580	1265
TU-55	φ1400×500	400	800	500	15~22	3500	1930	3040	1300
TU-60	φ1520×600	550	770	500	18.5~22	4200	2140	3410	1700

※印には標準型バスケットの他に深型バスケットもあります。
上記回転数は標準型の場合で、それぞれの処理物に最も適した回転数に設計いたします。

TG 上部排出型 遠心分離機



TG型は上部排出型でケーシングが開閉式です。

ケーシングが容易に開閉できる構造により、

1. 洗浄の困難だった部分が洗浄可能
2. 洗浄時間の短縮
3. 作業者の労力軽減

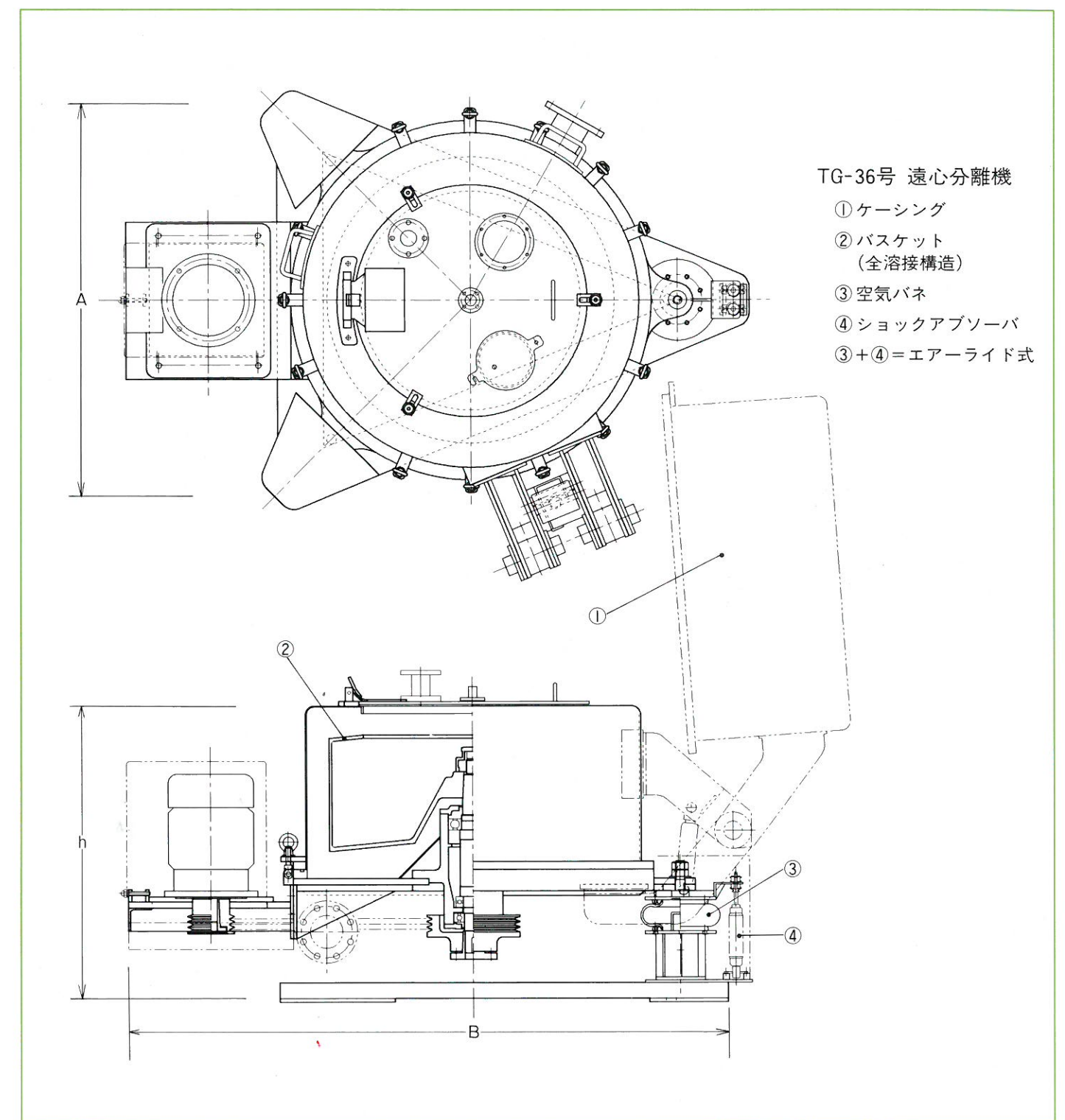
等の利点があります。

ケーシングのパッキンには、Oリング又はOシールを使用していますので、密閉度が増します。

又、消耗部品を最小限として、ランニングコストの軽減、メンテナンスを容易にしました。

TG型には、電動機の取付位置により二種類あります。

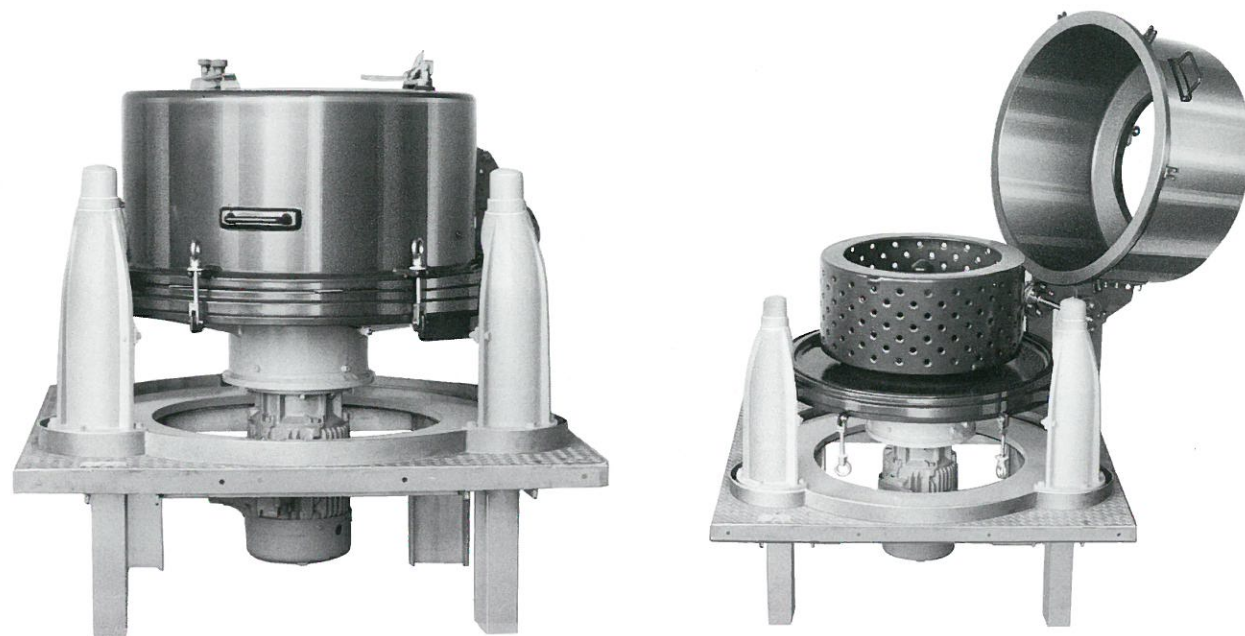
1. Vベルト駆動式
2. 下部電動機駆動式(12頁を参照して下さい)



Vベルト駆動式、インバータ仕様

型 式	バスケット寸法 直径×深サ(mm)	容量 (ℓ)	回転数 (r. p. m.)	遠心効果 (G)	モーター (KW)	機械重量 (約kg)	主 要 寸 法		
							A	B	h
TG-18	φ 457×229	15	1530	600	2.2	450	870	1240	570
TG-24	φ 610×270	30	1500	770	5.5	650	1100	1530	680
TG-30	φ 762×343	64	1200	610	7.5	900	1310	1730	860
TG-36	φ 915×343	90	1100	615	11.0	1400	1350	2140	980
TG-42	φ 1066×406	152	1000	600	15.0	2000	1560	2340	1090

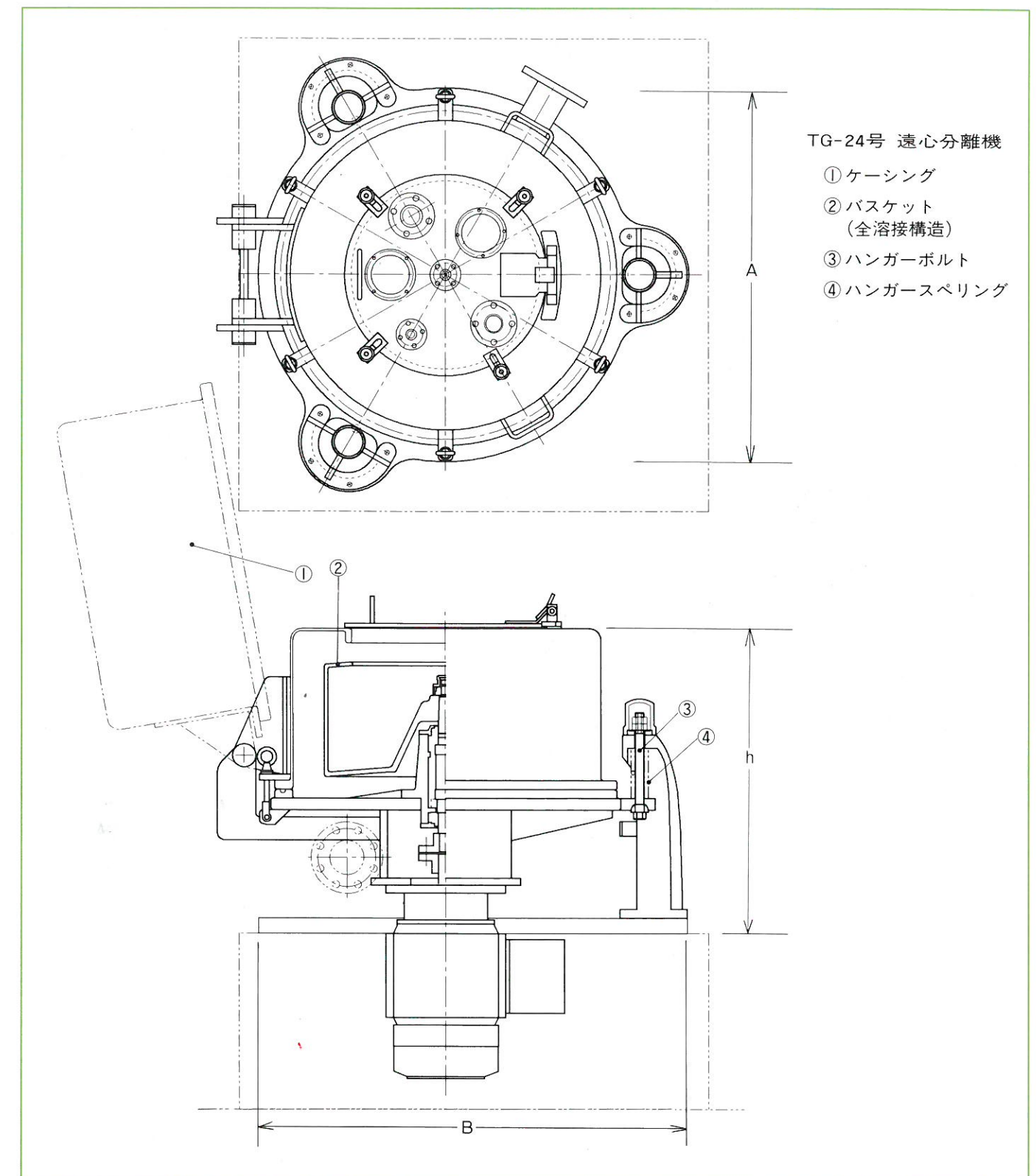
TG 上部排出型 遠心分離機



TG-24号 遠心分離機(下部電動機駆動)

TG型 遠心分離機 構成表

1. バスケット形状
- ☐全面有孔壁 ☐上部有孔壁 ☐無孔壁
2. バスケット構造
- ☐リベッティング構造(弊社標準) ☐全溶接構造
3. 電動機取付位置
- ☐Vベルト駆動 ☐下部電動機駆動
4. 駆動方式
- ☐トランジスタ・インバータ ☐電源回生機能内蔵インバータ
5. 制動装置
- ☐制動抵抗器ユニット ☐回生コンバータ
6. 支持方式
- ☐ハンガーボルト・スプリング式 ☐エアライド式
7. ケーシング構造
- ☐ケーシングワッパー・側板一体もの
8. 架 台
- ☐コンクリート架台 ☐固定鉄骨架台 ☐移動台車



TG-24号 遠心分離機

- ① ケーシング
② バスケット
(全溶接構造)
③ ハンガーボルト
④ ハンガースプリング

下部電動機駆動式、インバータ仕様

型 式	バスケット寸法 直径×深さ(mm)	容量 (ℓ)	回転数 (r. p. m.)	遠心効果 (G)	モーター (KW)	機械重量 (約kg)	主要寸法(mm)		
							A	B	h
TG-18	φ 457×229	15	1530	600	2.2	500	980	1030	680
TG-24	φ 610×270	30	1500	770	5.5	650	1130	1230	760
TG-30	φ 762×343	64	1200	610	7.5	950	1320	1330	860
TG-36	φ 915×343	90	1100	615	11.0	1600	1480	1490	980
TG-42	φ 1066×406	152	1000	600	15.0	2200	1650	1670	1090

TUW 全自動 連続式 遠心分離機



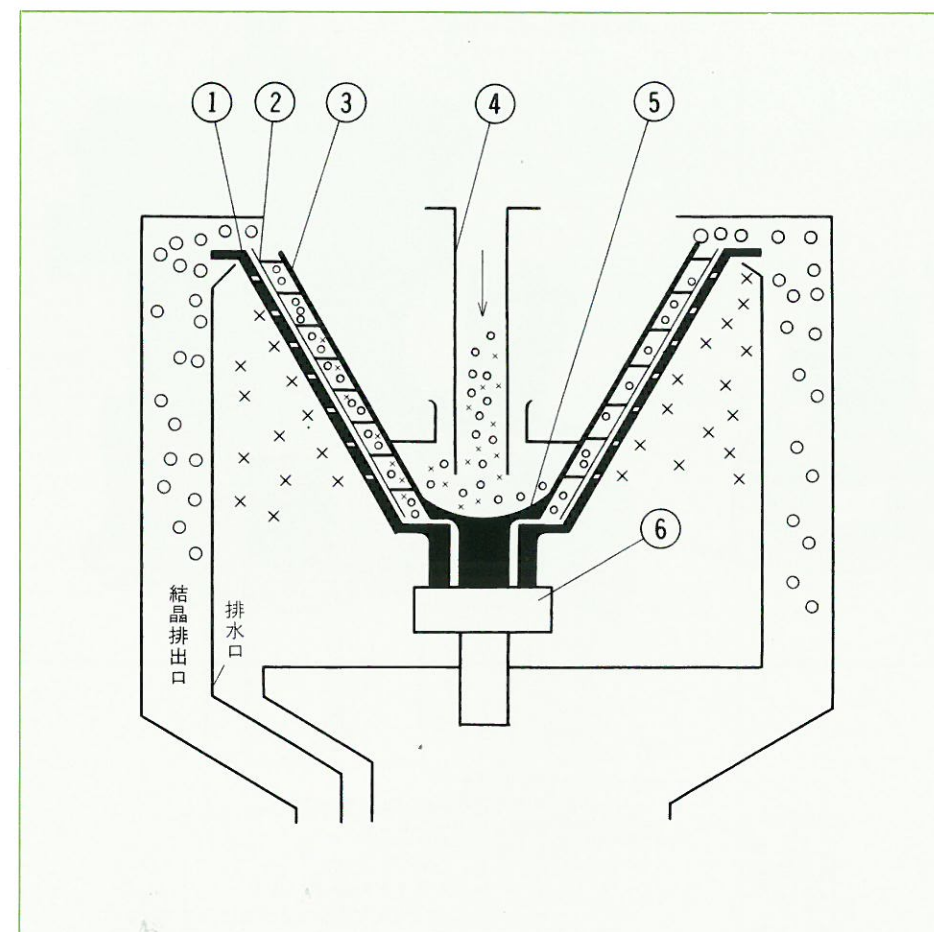
サイクロン

TUW-400



TUW型は、固液分離機として最高の能力を発揮する小型の全自動連続式遠心分離機です。
本機は上部中心の給液ノズルより供給されたスラリーを下部の分散板でバスケットに均一に振り分けられます。
スラリーはバスケットに張られたスクリーンで濾過され、結晶は排出スクリュー(コロネット差動減速機)で上部に排出されます。
バスケットと排出スクリューの間隙は数ミリ位で、結晶分離は薄層で分離脱水される為、脱水度は非常に良く、又運転中のバランスは殆んどありません。
本機はスラリーの濃淡に極度なバラツキがあっても何の支障もなく分離される事が特長でもあります。

TUW型構造図



- ① V型バスケット
- ② スクリーン
- ③ 結晶排出スクリュー
- ④ 給液ノズル
- ⑤ 分散板
- ⑥ コロネット差動減速機

使用例 1. 食品の付着水分の脱水

使用例 2. 乾燥機の前処理

洗浄後のレーズンやゴマ等の付着水分の脱水に最適です。(底部排出型)

加圧・減圧濾過機等で脱水された粉体は含水分約40%と水分が多く、エア輸送・乾燥工程等の省力化が困難とされていましたが、この粉体を再度TUWで分離することによって、含水分約22%~25%迄分離脱水する事ができます。

バスケット駆動方式

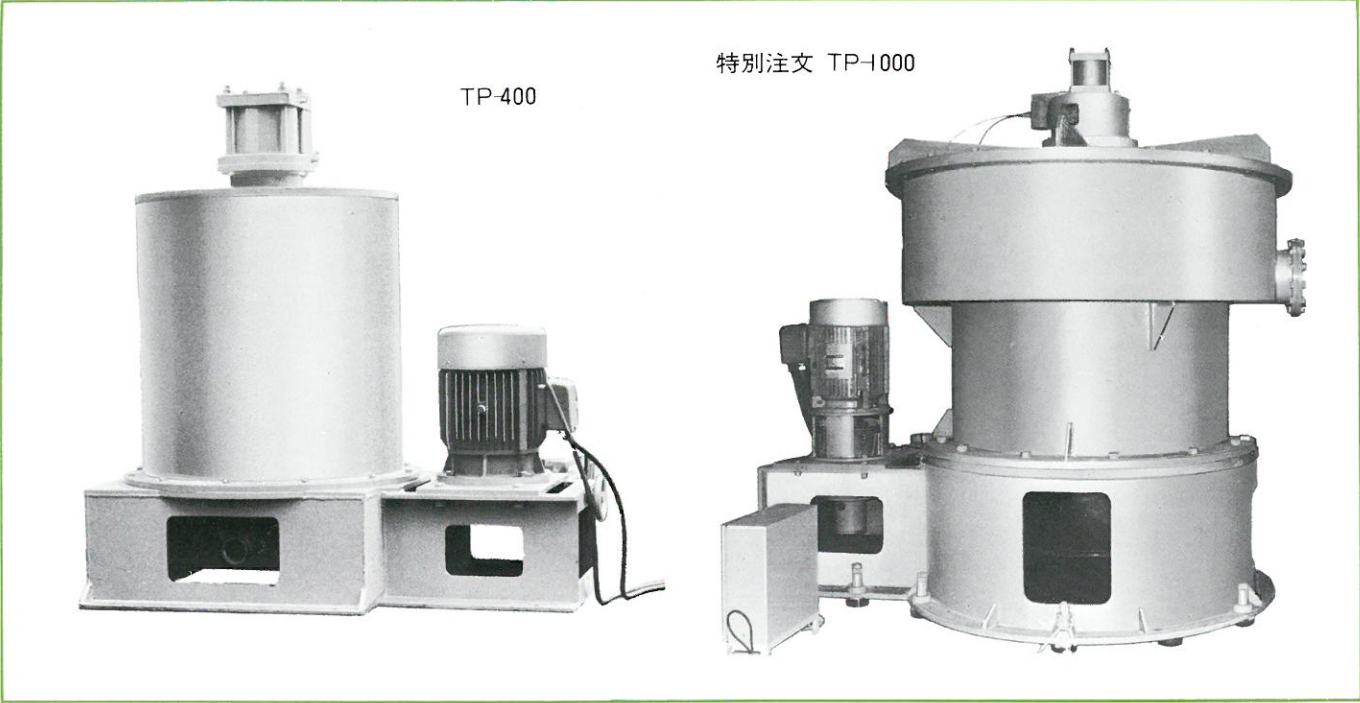
電動機駆動 — 全閉外扇型
— 安全増防爆型
— 耐圧防爆型 — ノークラッチ・ノーブレーキ

トランジスタインバータ駆動 — 全閉外扇型
— 安全増防爆型
— 耐圧防爆型 — ノークラッチ・ノーブレーキ

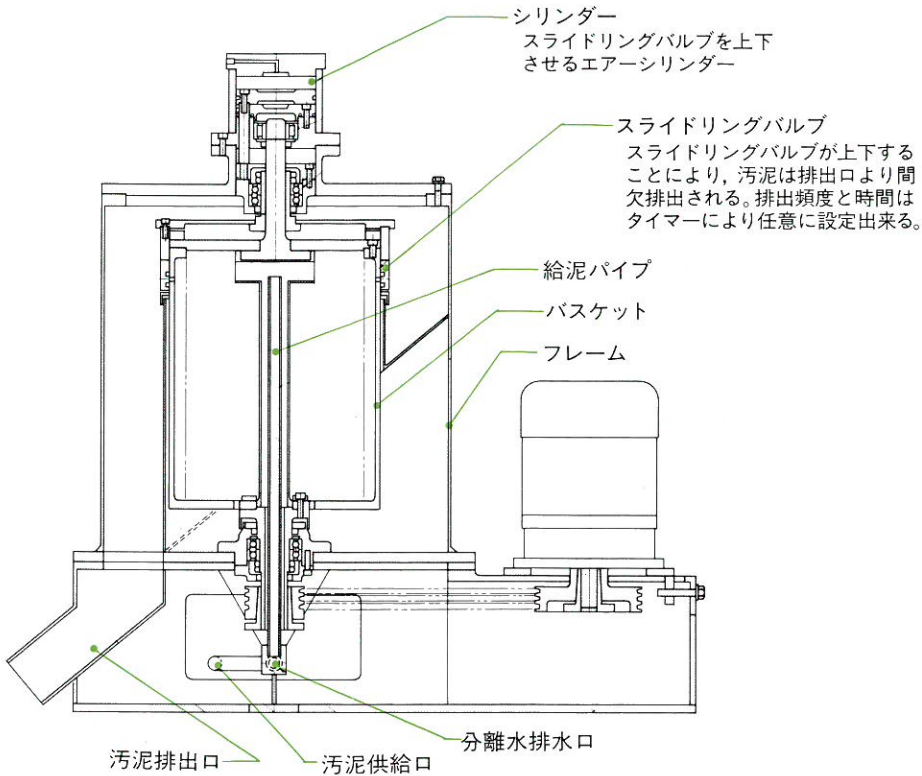
仕 様

型 式	バスケット寸法	濾過面積 (cm ²)	回 転 数 (r.p.m.)	遠心効果 (G)	モーター (KW)
	直径×深さ(mm)				
TUW-400	φ400×250	31	470~1640	50~600	1.5~5.5
TUW-600	φ600×350	65	390~1340	50~600	3.7~11
TUW-800	φ800×450	113	340~1160	50~600	11~22

TP 遠心濃縮機



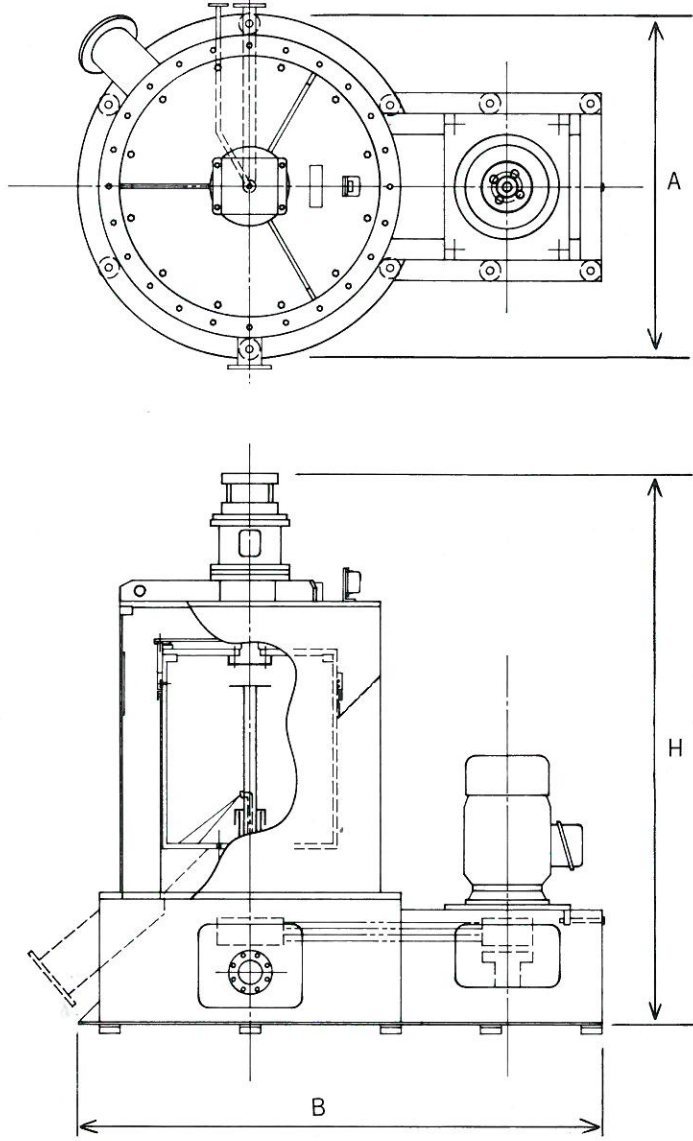
TP-400 構造図



この遠心濃縮機は主として活性汚泥法廃水処理に際して発生する余剰汚泥、最初沈殿池汚泥、最終沈殿池活性汚泥、これらに類するスラリー状排水等を対象に使用されるもので、高速回転下の遠心分離作用により、連続的に固液を分離し強制濃縮処理を行なうものです。

処理される原水は高速回転しているバスケット下部に投入され、遠心分離作用を受けて内壁に押しつけられます。このとき比重の大きいケーキは内壁側に蓄積され、水分は中心寄りに水層を形成します。この水分は中心附近の排水口から排水され一方固形物は回転中でも自由に開閉できる吐出孔から遠心力により排出されます。この吐出孔の開閉は、バスケットの外壁に密着しバスケットと共に回転しているスライドリングバルブをエアシリンダーで上下させることにより行なわれますので、この遠心濃縮機はバスケットが回転している状態で濃縮固形物を取り出すことが出来、その機械的構造も極めて簡単なものです。

TP-800



- TP-800 仕様
- 型 式 全自動 TP-800 遠心濃縮機
 - 外形寸法、重量、バスケット寸法、回転数、等は下表の通り。
 - バスケット材質 SUS 304
 - ケーシング材質 SS 41
 - 主 軸(上・下) SCM 435
 - 伝 導 方 式 トランジスタ・インバーターによる可変速駆動
 - 汚泥排出装置 スライドリング作動方式
エアシリンダーによる上下作動
 - 特 殊 仕 様 異常振動検出器
洗浄ノズル取付
防振ゴム取付

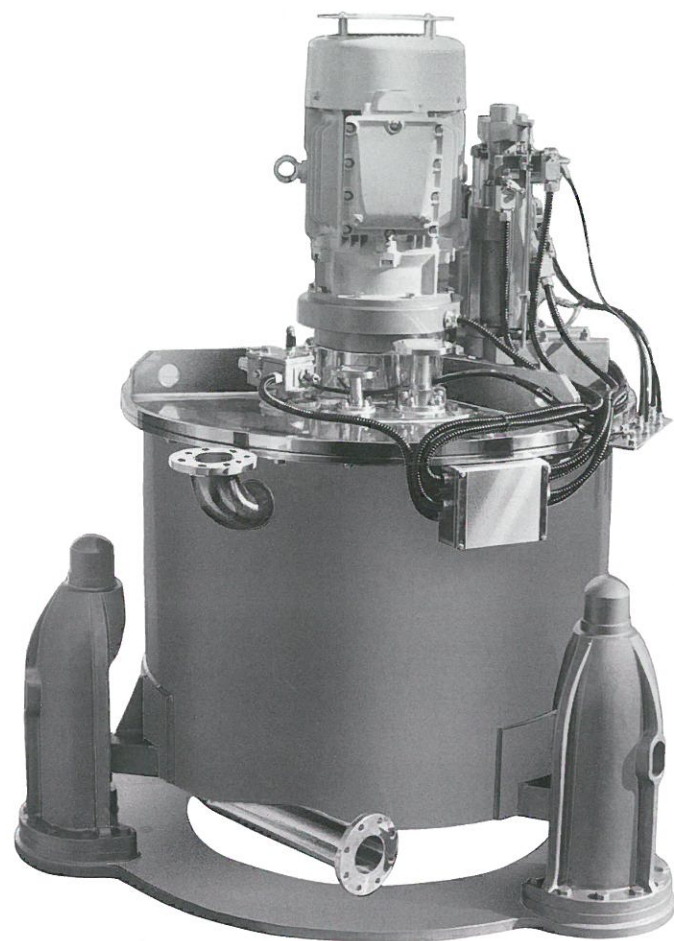
仕 様

型 式	バスケット寸法	容 積 (Δ)	回 転 数 (r.p.m)	遠心効果 (G)	モーター (KW)	機械重量 (kg)	主 要 寸 法 (mm)		
	直径×深さ(mm)						A	B	H
TP-400	$\phi 400 \times 500$	60	1640	600	5.5 (4P)	750	800	1300	1350
TP-600	$\phi 600 \times 700$	200	1340	600	11 (4P)	1600	1200	1730	1900
TP-800	$\phi 800 \times 900$	450	1160	600	22 (6P)	5000	1650	2510	2500

本機の特長

- 原水供給、濃縮液吐出および清澄水排出を連続的に行なうことができます。
- 運転開始時に電動機による起動が行なわれた後は、供給・吐出・排出が連続的に行なわれます。従って吐出のための中間的停止・始動の繰り返しが不要なので、大量電力消費が避けられ、運転中の電力消費は非常にわずかですみます。
- 簡単な機構で連続運転ができますので、保守管理が容易になります。
- 通常の都市下水等の活性汚泥2,000～10,000ppmの濃縮では、沈殿池等を必要とせず、数秒～数分の滞留時間でしかも凝集剤等の薬注なしに、固形分濃度6～8%程度にまで濃縮が可能です。
- し尿汚泥処理工程の前処理、すなわち時間的に固形分の濃淡の著しいし尿にこの遠心濃縮機を適用すると、短時間でほぼ完全に固液が分離され、その後の消化工程および活性汚泥処理工程の安定した運転が可能となります。
- コンパクトな機構なので都市廃水に最適であり、更にビルの中水道化にも役立ちます。
- 農村廃水その他、養豚養鶏等畜産廃水の前処理、余剰汚泥濃縮に活用できます。
- 工場排水等の他、化学工場、食品工場、その他の固液分離単位操作にも安全・簡便・低コスト・高効率という点で、従来法に替る画期的な遠心濃縮機です。

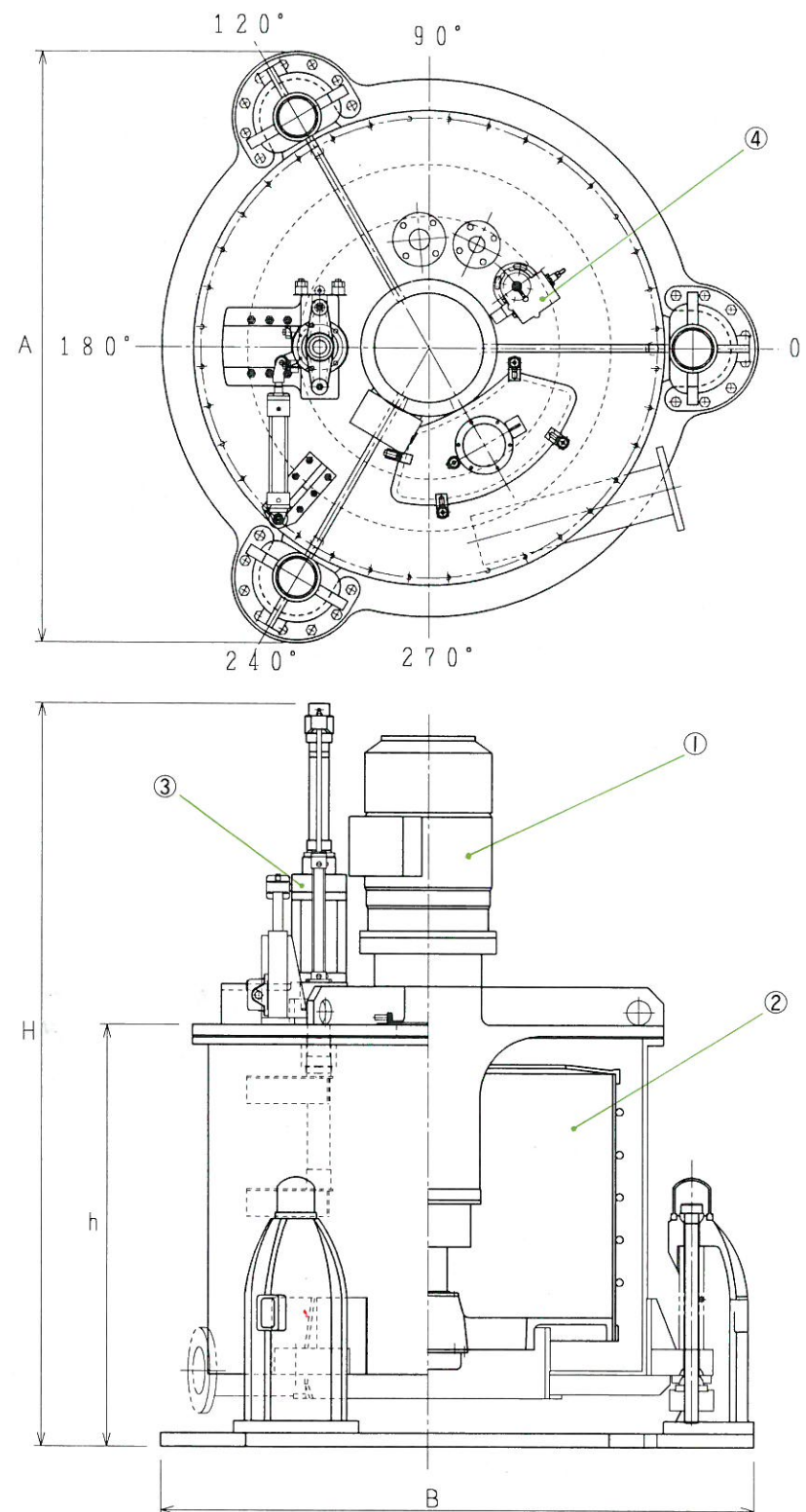
SOE 上部電動機駆動 遠心分離機



SOE-42号 遠心分離機 (SUS304製、インバータ防爆仕様)

特 長

- バスケット容量、濾過面積が大きく、大量処理物に適します。
- 全自動運転で労力軽減、安全衛生が確保されます。
- 同じバスケット容量の遠心分離機と比較して、据付面積が小さくなります。
- Vベルト、ブレイライニング等の消耗品が無くランニングコストの軽減、メンテナンスを容易にしました。
- トランジスタ・インバータ仕様により処理物の性状に適した回転数で運転ができます。



SOE-48 遠心分離機

- ① 電動機
- ② バスケット
- ③ 撈取機(自動)
- ④ 積層計(自動)

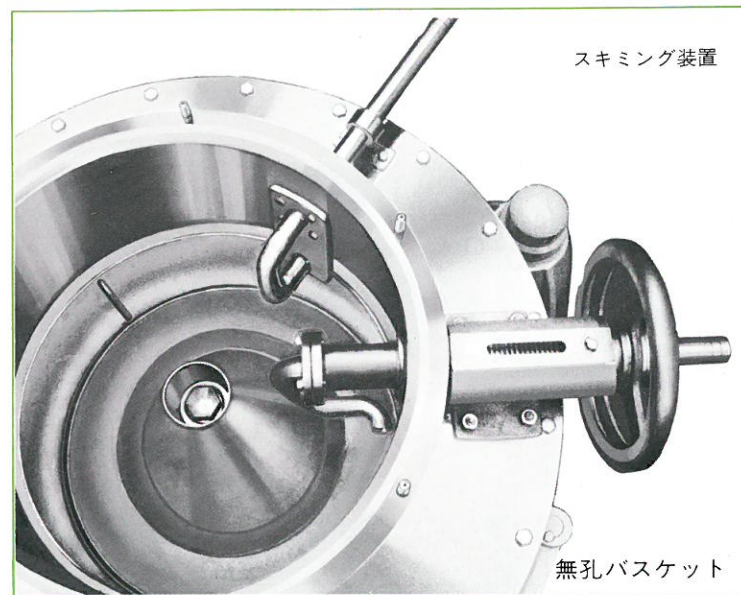
トランジスタ・インバータ仕様

型 式	バスケット寸法	容 量 (ℓ)	回転数 (r. p. m.)	遠心効果 (G)	モーター (Kw)	機械重量 (約 kg)	主 要 寸 法 (約 mm)			
	直径×深さ(mm)						A	B	h	H
SOE-42	φ 1066×700	260	1000	600	22.0	3000	1830	1840	1270	2320
SOE-48S	φ 1220×800	410~480	940	600	37.0	4000	1940	1960	1400	2500
SOE-48L	φ 1220×1000	510~600	940	600	37.0	4200	1940	1960	1630	2950

TS 上部排出型 スキミング遠心分離機 オプション 減速掻取装置 底部排出型

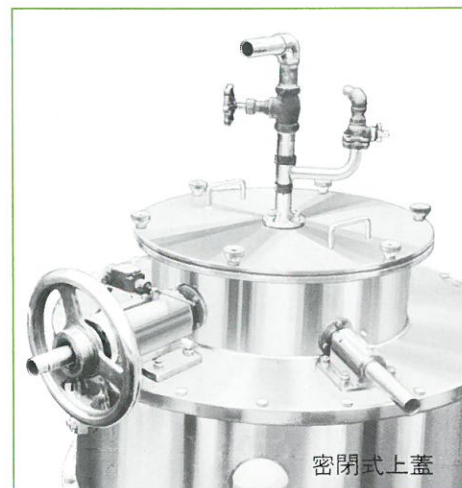


上部排出型TS-36



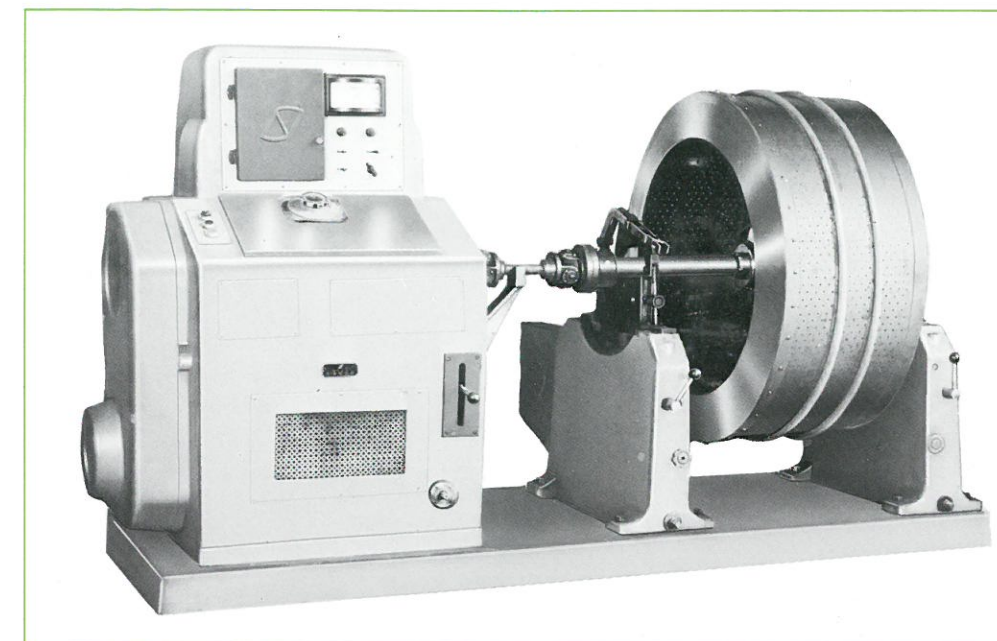
スキミング装置

無孔バスケット



密閉式上蓋

原液が金網・汙布の目を通過してしまうかあるいは目づまりを起すような固形微粒子の分離、又は比重の違う液体-液体の分離には、無孔バスケットで強力な遠心力により沈降分離する本機が最適です。
比重差により清澄液と固形物(比重の重い液)の2層に分離されます。
清澄液はバスケットのトップリムよりオーバーフローさせて排出する方法とスキミングパイプで排出する方法があります。
バスケットの内壁に集積された固形物は上部より排出する方法と底部より落下排出する方法があります。
中・大型の場合には減速掻取装置を取付けると便利です。尚バスケット駆動方式は電動機駆動・トランジスタインバータ駆動になります。



ダイナミックバランシングマシン

遠心分離機の回転体であるバスケットは、相当の荷重を受けながら高速回転をしますので、安全性と耐久性が要求されます。
静バランスは勿論の事、動バランスと歪検査により品質の良否が決定します。
弊社はバスケットの精密調整をしていますので運転中の振動は殆んどなく安全性と耐久性にすぐれています。

仕様

型 式	バスケット寸法	有効容積	回転数	遠 心 効 果 (G)	モ ー タ ー (KW)
	直径×深さ(mm)				
TS-12	φ 305×146	3.6(ℓ)	2800(r.p.m.)	1340	0.75~1.5
TS-15	φ 381×172	6.5	2300	1125	0.75~1.5
TS-18	φ 457×229	15	2000	1025	1.5~2.2
TS-24	φ 610×270	30	2000~2200	800~1000	2.2~3.7
TS-30	φ 762×343	64	1370~1530	800~1000	5.5~7.5
TS-36	φ 915×343	90	1200~1400	720~1000	7.5~11
TS-42	φ 1067×406	152	1100~1300	700~1015	11~15
TS-48	φ 1220×406	208	1000~1200	680~980	15~22

上記回転数は標準の場合で、それぞれの処理物に最も適した回転数に設計いたします。

試験機

当社では試験機を備え、ご要望に応じ(貴社持込みも可能)実験を行ないます。

- (1) TU-12 SUS 304
- (2) TU-18 チタン
- (3) TD-15 SUS 304
- (4) TS-12 SUS 304
- (5) TUW-400 SUS 304
- (6) TP-400

トランジスタ・インバータを使用して実験を行ないます。

御紹介に際して

下記の項目についてお知らせ下さい。

- ☐ 用 途
- ☐ 分離する母液および製品の化学的性質
- ☐ 処理原液量 (ℓ/Hr)
- ☐ 製 品 量 (kg/Hr)
- ☐ 製口の許容残留水分 (kg/gr)
- ☐ 分離される母液の性質
 - 母液に含まれる固形分の割合 (W%)
 - 母液に含まれる固形分の粒度分布
 - 母液の粘度
 - 母液の比重、固形分の比重
 - 処理温度
- ☐ 製品洗浄の要否
- ☐ 遠心分離機前後の工程
- ☐ 構造上特に要求される事項(材質・その他)
- ☐ 現在の処理方法